

やっかん通信



Vol. 14

三世代が安心して暮らせる街づくり

日頃より後援会への御支援、御理解を頂き誠に有難う御座います。
第5回定例議会が8月29日に開会され、9月5日から8日の4日間で一般質問が開催されました。私は初日1日目の3番手で5項目11点の質問を行いました。

今回、宇佐市の子ども医療に対して地域医療をしっかり守り、子育て世代の経済的負担低減を求めました。又、土曜日午後の外科受診について安全・安心な街と言われる様、医療体制の拡充をお願い致しました。今後も全力を尽くし、精一杯頑張っ参りますのでどうぞ宜しくお願い致します。 m(_ _)m



・活動報告!

・市民相談解決!

まだまだ
やります!!

最新情報です!! <災害ボランティア>



9/26,津久見市災害ボランティア活動に和氣市議と2名でお手伝いさせていただきました。

<道路の凸凹見直し>

↓ 穴を直して!!
(院内町榎野)



改善前



改善後

↓ 気が付いたので直しました!!(糸口地区)



改善後

<自動車関係各種大会出席>



7月から自動車総連コンベンションや日産労連定期大会に出席し、自動車関係の諸課題や問題点についてを勉強しました。

<宇佐市平成29年度9月第5回定例会>

「平成29年度宇佐市一般会計補正予算(第3号)」のみ紹介します。今回の補正予算案は国県補助金の追加内示に伴い、法鏡寺廃寺跡保存整備事業をはじめ、保育所等防犯対策強化事業の追加や県営中山間地域総合整備事業などの前倒しを行うと共に、就学援助費の充実をはじめ、自治区集会所建設補助事業や生活道路の環境整備に必要な事業費を追加するものであります。又、新庁舎建設事業の年度内着工を見据え、来年度以降の事業費に係る債務負担行為を計上しております。その他は議会報を御覧下さい。

増額・「地方創生関連」

「事前前倒しに伴い県営中山間地域総合整備事業」	4,350 千円
「就学援助費が国の単価設定に伴う新入学学用品費の拡大」	5,027 千円
「法鏡寺廃寺跡保存整備事業」	11,505 千円

増加・「安心安全確保対策」、「特色を活かしたまちづくり」

「自治区集会所建設補助事業」	7,000 千円
「保育所等防犯対策強化事業」	20,836 千円
「臨時地方道整備事業」	30,000 千円

追加・「福祉避難所用備蓄物資等整備事業」 4,679 千円

増加・「公共施設設備基金、子ども・子育て応援基金に合わせて積立金の計上」 24,789 千円

<9月一般質問概要>

I・子ども通院医療費について

- ① 隣市では来年の4月より子ども通院医療費を18歳まで無料にする動きがあるが宇佐市に於いてはどのような対応をしていくのか又、今現在未就学児まで無料だが、まずは小学校低学年まで無料にする案はないのか。

<答弁> 対象年齢の拡大は多大な財源と受診者が増加する事により医師の疲弊や小児科医療体制が崩壊しかねないという課題があり
関係機関と協議を重ねていく

- ② 中津市民病院小児救急センターの現状はどうか。

<答弁> 平成29年4月から4ヶ月間では前年同期に比べ、減少している。



II・土曜午後の外科受診について

- ① 土曜日の午後に子どもがケガをして市内の病院で色々探したが受診できず最後に中津の病院まで行く事になったと聞かすが市内で受診できる外科病院は無いのか。

<答弁> 診察は市内ほとんどの医療機関では行っていない状況であり、宇佐高田医師会病院では電話での問い合わせにより状況によって、受け入る場合もある。

- ② 土曜の午後に対応出来る病院の情報を市民への周知をどの様に行っているのか。

<答弁> 中津市立小児救急センターについては子育て支援サイト、ホームページなどで行っている。

III・東九州自動車道の霧対策について

- ① 日出 JCT 付近の霧による影響で通行止め等が頻繁にある事に対して、早急な対応を要望できないか?

<答弁> 今後の対策についてネクスコ西日本九州支店大分高速道路事務所に確認した所、「霧は雨や風向きで発生状況が変化し、完全に防ぐのは不可能。改良防霧ネットの設置により規制時間を1時間でも短縮したい」との回答を頂いている。



IV・救マーク制度について

- ① 制度導入後の進捗状況はどうなっているか?

<答弁> 現在のところ9つの施設等を救マーク認定施設としており、認定施設の拡大の為各種会議での周知や市ホームページを活用し更なる救マーク制度の周知を図っている

- ② 制度の緩和や市が市内のコンビニや企業に対してAEDの設置は出来ないか。

<答弁> 費用負担や維持管理について協定等を締結する必要があり、今後調査研究していく。

- ③ スマホ等の端末で市内全てのAEDの設置場所を検索出来る様にしてはどうか。

<答弁> 現在利用できるアプリ等の連携について関係各課と協議していく。



V・農業指導員について

- ① 市内には技術指導員がいないと聞かすが今後は採用していかないのか?又採用基準が厳しいのか?

<答弁> 技術指導は試験研究機関を持つ大分県との連携による役割分担をすべきと考えており、市では補助事業などの農業施策を推進する専門職員として農業技師を1名配置し、農業振興を図るとともに農業施策を推進する為の職員育成にも努めています。